

1 条件

- ・ 2級章課目『2.ハイキング』の(1)及び(2)を取得済である事
- ・ 実施は個人、グループ問わないが、計画書は各自提出する事  
また、班長のチェックを受けて、完成した計画書を提出する事
- ・ 計画書は、実施1週間前までに合格しなければ、実施を認めない
- ・ 実施後、速やかに報告書を提出する事
- ・ 報告書の提出が無ければ、合格と認めない
- ・ ハイキングはルートの往復ではないので、往復のルートは認めない

2 計画書の作り方

1 目的 (テーマ)

必ず目的を考える事。

『2級取得』はハイキングの目的にならない。

『歩く』も目的にならない。

例：沿道の街路樹の種類を確認し、どの道にどんな街路樹があるか調べる

2 実施日、時間

上級スカウト若しくはリーダーが同行します。

自分の都合だけでなく、同行する人とも相談して決める事。

3 ルート概要

○○ (スタート地点名) ~△△ (チェックポイント) ~◇◇ (ゴール地名)  
という書き方で、ルートを書く。

必ずルートの地図を添付する事 (コピー可)

添付する地図は、国土地理院発行地図2万5千分の1を使用する事。

インターネットの地図や道路地図では正確な距離が測れない為禁止

地図作業を済ませ、座標が判るようにしておく事

国土地理院の地図は、

WILD-1 守山店	:	守山区森孝3-115
らくだ書店 本店	:	千種区青柳町5-18
正文館 本店	:	東区東片端町49
三洋堂書店 本店	:	昭和区隼人町7-7

などで入手できます。

4 同行者

付き添いでないメンバーを全員書く事

また、メンバー全員が計画書を提出する事

5 装備品

ハイキングに必要と思われる携行品を書く事

6 予算

交通機関を使う場合や、特別に料金を払う必要が有る場合は

予算として内容、金額を書く事

7 安全

ルート全体で、安全のためにつとめなければいけない事を書く事

ルート上で危険と思われる所を、どうすれば安全に通れるか考えるて書く事

8 スケジュール

出発から帰着まで、途中いくつかのチェックポイントを作り、それぞれの距離と時間を考えて書く事 (10kmを2時間で、課題をこなしながら歩くのは無理)

### 3 ハイキングコースの作り方

- 1 目的（テーマ）を決める  
何でも良い。  
例：秋を探すハイク等
- 2 目的地を決める  
10km程度のハイクであるが、目的地を5km先に設定しなくてもよい。  
近くでもいいので、目的が果たせる場所を探す。  
（この時点ではどんな情報、地図を使っても良い）
- 3 地図を入手する  
スタート地点、目的地の載っている国土地理院25,000分の1の地図を入手する。  
場所によっては、複数枚になる。  
入手したら地図作業を行う。
- 4 途中のチェックポイント（休憩ポイント）を決める  
目的地より近い（場合によっては遠い）所に数ヶ所設定する。  
神社や寺などが地図上でも探し易く、チェックポイントにしやすい。
- 5 ルートを決める  
スタートからチェックポイントを通り目的地までのルートを、一筆書きできるようなルートを決める。  
安全面に注意し、歩道の無い大通りは避ける。
- 6 全ルートの距離を測る  
ルートを決めたら、実際に何kmのルートか測る。  
9km以上11km以下になる事。  
（測り方はハッドブックに載っている）

### 4 取得までの流れ

